

関東クボタ精機株式会社

1 工場概要

- ▶ 住所 〒300-2402 茨城県つくばみらい市坂野新田10番地 (株)クボタ筑波工場内
- ▶ 従業員数 176(66)名 ・H19.4月1日現在、カッコ内は協力会社で内数

2 事業概要

▶ 事業内容

農業機械の各種加工、組立

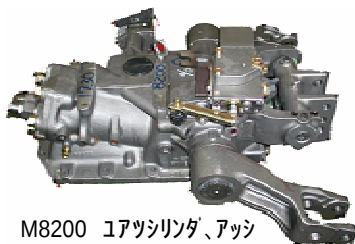
- 1) トラクタの前車軸関係部品の加工、組立
- 2) トラクタの油圧シリンダー関係部品の加工、組立

▶ 主要製品

筑波工場向け



M9000 1アッシリンダ ホンタイ



M8200 1アッシリンダ、アッシ



M9000 センリンケース、アッシ



F7 アクスル、アッシ(フロント)



E-21 チューブコンプ



E25K シリンダ、アッシ(リフト)

3 工場変遷

昭和49年 (1974) 株式会社クボタの関連会社であるクボタ精機株式会社の関東地域進出企業として設立。株式会社クボタのグループ企業として、主に筑波工場に、トラクタの農業機械部品加工及び組立を開始。

平成19年 (2007) 生産の拠点を茨城県稲敷市から(株)クボタ筑波工場内に移転し、更なる業務の効率化と環境負荷軽減を図っている。

4 環境方針

▶ ISO環境方針（クボタ筑波工場と踏襲）

方 針

- 1) 原材料の購入・使用・廃棄・回収と生産・サービスの各段階において汚染の予防を図り、生産方法の改善、原材料の見直し及び省エネルギーの推進等により、長期的で幅広い観点から施策を実施し、環境負荷低減と地球温暖化防止に努めます。
- 2) 国、地方自治体等の環境規制の遵守は勿論のこと、同意したその他の要求事項についても管理基準を設定し、維持することに努めます。
- 3) 本方針を実践するための具体的な目的、目標及び施策を明確にするとともに、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うよう努めます。
- 4) 環境管理活動の重要性を全従業員に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。その具体策の一つとしてこの環境方針を関係者全員に配布し、教育、徹底致します。
- 5) 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。また、この環境方針は公表いたします。

2007年4月1日

筑波工場長 小川 謙四郎

▶ ISO認証取得状況

- 平成13年（2001） ISO14001環境マネジメントシステム認証取得
- 平成16年（2004） ISO14001環境マネジメントシステム認証更新
- 平成17年（2005） ISO14001環境マネジメントシステム2004年版移行審査
ISO14001環境マネジメントシステム2004年版移行認証取得
- 平成19年（2007） ISO14001環境マネジメントシステム（株）クボタ筑波工場と統合

関東クボタ精機株式会社

5 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2006年度		
				目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	切削液、洗浄液の交換周期見直し低減による廃液量の低減	排出量 原単位	2004年 0.480 ℓ/万円	16.0%減 0.403 ℓ/万円	14.4%減 0.411 ℓ/万円	
	切削油、潤滑油の交換周期見直し低減による廃油量の低減	排出量 原単位	2004年 0.057 ℓ/万円	19.2%減 0.046 ℓ/万円	36.8%減 0.036 ℓ/万円	
	紙使用量低減及びコピー用紙再利用の推進	使用量 原単位	2005年 1.624 枚/万円	1.0%減 1.608 枚/万円	36.9%増 2.224 枚/万円	×
	グリーン購入法適合品及びGPNデータブック掲載品の優先的購入	購入率	2005年 71.2%	10.2%増 81.4%	16.6%増 87.8%	
	切削液、洗浄液の交換周期見直し低減による希釈用井戸水使用量の低減	使用量 原単位	2004年 0.0711 m³/万円	42.2%減 0.0411 L/万円	47.4%減 0.0374 m³/万円	
地球温暖化防止	電力消費低減活動による電力会社発電時の温室効果ガス発生の低減	排出量 原単位	2004年 1.301 t-CO₂/百万円	7.8%減 1.200 t-CO₂/百万円	0.5%減 1.294 t-CO₂/百万円	
有害化学物質の削減	有害化学物質使用量低減によるPRTR対象物質使用の原単位低減	排出量 原単位	2005年 0.4190 kg/百万円	1.0%減 0.4148 kg/百万円	26.0%減 0.310 kg/百万円	

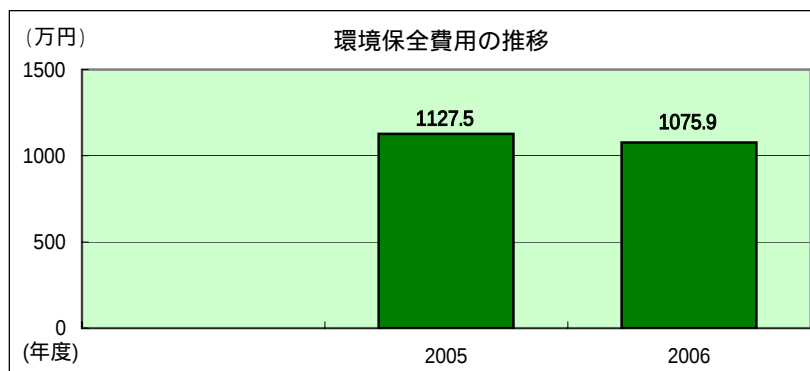
自己評価の基準 : 目標超過達成 ○ : 目標達成 : 目標一部達成 × : 目標未達成

6 環境会計

環境保全費用

2006年度: 1,075.9万円

2005年度から保全費用のデータ集計を実施しました。



関東クボタ精機株式会社

環境保全効果

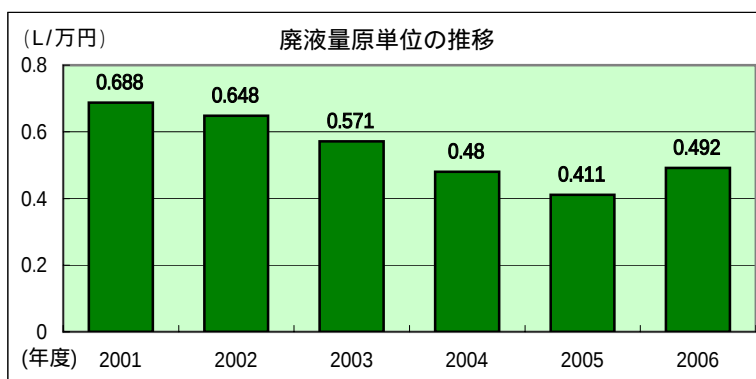
効果の内容	効果	2005年度	2006年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	34,754	36,108	-1,354	103.90%
	水使用量(m ³)	5,571	5,112	459	91.76%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	1,646	2,015	-369	122.39%
	SO _x 排出量(t)	-	-	-	-
	NO _x 排出量(t)	-	-	-	-
	ばいじん排出量(t)	-	-	-	-
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	0.5478	0.4104	0.1374	74.92%
	廃棄物排出量(t)	75.4	93.2	-17.8	123.61%
	廃棄物埋立量(t)	0.063	0.003	0.060	4.76%

7 環境パフォーマンス

循環型社会の形成

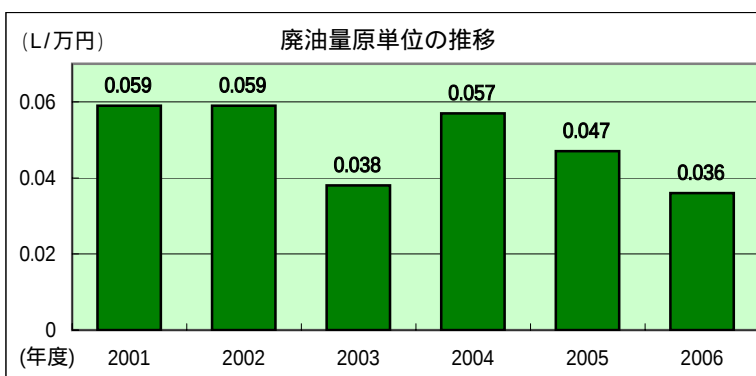
廃液量の削減

切削液、洗浄液の交換周期見直し低減による廃液量の低減
2001年度からの環境活動の推進項目に目標に取り上げ改善を実施
現在も改善活動中



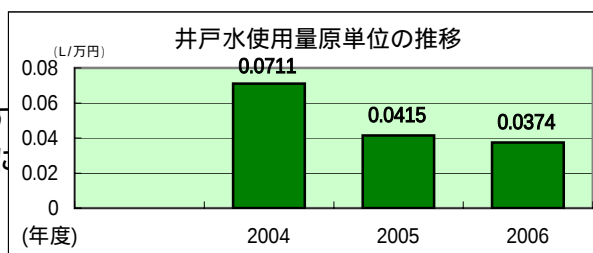
廃油量の削減

切削油、潤滑油の交換周期の長期化により、廃液量の低減を図っています。
2001年度からの環境活動の推進項目に目標に取り上げ、継続的に改善を行っています。



井戸水使用量の削減

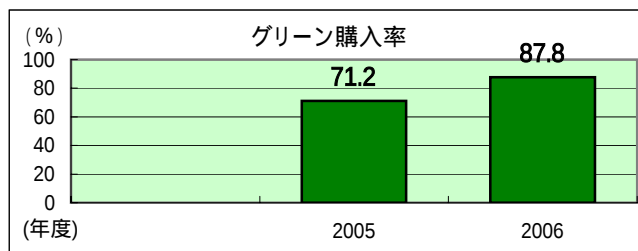
切削液、洗浄液の交換周期の長期化により、希釈用井戸水の使用量の低減を図っています。
2001年度からの環境活動の推進項目に目標に取り上げ、継続的に改善を行っています。



関東クボタ精機株式会社

グリーン購入の推進

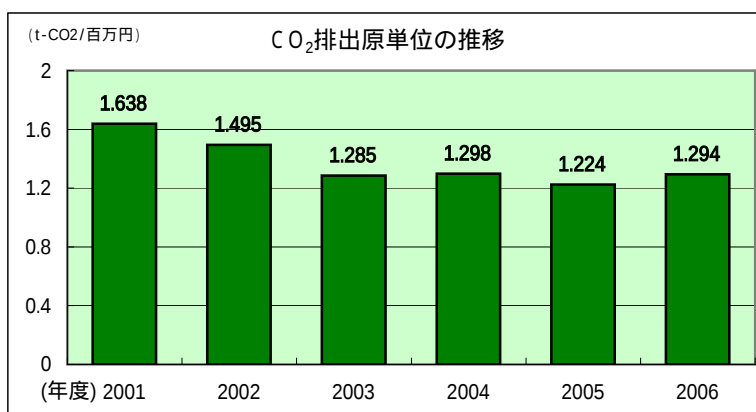
グリーン購入法適合品及びデータブック掲載品を優先的に購入しています。再生紙等の購入を行い、購入率の向上に努めています。
2005年度から集計を実施しています。



地球温暖化の防止

省エネルギー、 温室効果ガスの削減

電力消費低減活動による電力会社発電時の温室効果ガスの低減。
2001年度からの環境活動の推進項目に目標に取り上げ改善を実施するなど、現在も改善活動を継続的に実施しています。



有害化学物質の削減

PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量 (kg)				移動量 (kg)	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
40	エチルベンゼン	35.36					
44	エチルグリコール						13.04
63	キシレン	137.24					
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.68					
227	トルエン	118.80					
230	鉛化合物						16.00
272	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(DOP)						9.06
299	ベンゼン	8.31					
307	ポリオキシエチレンアルキルエーテル						4.66
309	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル						0.41
346	ポリブテン化合物						0.86

8 サイトデータ

▶ INPUT (H18.4改正省エネ法 エネルギー使用状況届出書データを用いています)

項目	単位	使用量	熱量換算GJ
エネルギー	電気	万kWh	358.34
	石炭コークス	t	0
	都市ガス	千m ³	0
	灯油	kl	8.39
	軽油	kl	3.34
	重油	kl	0
	LPG	t	0.21
	ガソリン	kl	1.73
	合計		36,108.05

水使用量	万m ³	0.511
------	-----------------	-------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,014.63
---------------------	-------------------	----------

排水	放流先	項目	単位	事務所、食堂の生活廃水		浄化槽の排水	
				規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域		pH	-	5.8～8.6	7.3	5.8～8.6	7.4
		BOD	mg/l	20	4.7	20	7.7
		COD	mg/l	—	—	—	—
		窒素	mg/l	—	—	—	—
		りん	mg/l	—	—	—	—
		六価クロム	mg/l	—	—	—	—
		鉛	mg/l	—	—	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—	—	—

廃棄物排出量	t	93.2
再資源化率	%	99.99